

2014年薬学部第5問

1枚目/2枚

5 a を実数とし、関数 $f(x)$ を $f(x) = 2x^3 - 3(a+2)x^2 + 12ax$ で定める。

- (1) $f(x)$ が極値をもつとき、その値は $\boxed{\text{タ}}$ である。 $-a^3 + 6a^2$ と $12a - 8$
- (2) $y = f(x)$ のグラフが a の値に関係なく通る点で、原点 O でないものを A とする。点 A の座標は $\boxed{\text{チ}}$ である。 $(4, 32)$
- (3) 点 A を (2) で定めた点とする。線分 OA と $y = f(x)$ のグラフが 2 点 O, A 以外に共有点をもつ a の値の範囲は $\boxed{\text{ツ}} < a < \boxed{\text{テ}}$ である。
- (4) $x \geq 0$ を満たすすべての実数 x について、不等式 $f(x) \geq 0$ が成り立つ a の値の範囲は $\boxed{\text{ト}} \leq a \leq \boxed{\text{ナ}}$ である。 $\frac{2}{3}$ $\frac{10}{3}$ $\frac{2}{3}$ 6
- (5) $a \geq 3.5$ を満たすすべての実数 a について、方程式 $f(x) = k$ が 3 つの異なる実数解をもつ実数 k の値の範囲は $\boxed{\text{ニ}} < k < \boxed{\text{ヌ}}$ である。 32 34

$$\begin{aligned} (1) f'(x) &= 6x^2 - 6(a+2)x + 12a \\ &= 6\{x^2 - (a+2)x + 2a\} \\ &= 6(x-a)(x-2) \end{aligned}$$

$\therefore f'(x) = 0$ が異なる 2 つの実数解をもつとき、 $a \neq 2$ であり。

このとき、極値は、 $f(2) = 12a - 8$ 、 $f(a) = -a^3 + 6a^2$

$$\therefore \underline{-a^3 + 6a^2 \text{ と } 12a - 8}$$

$$(2) f(x) = 3a(4x - x^2) + 2x^2(x - 3)$$

$\therefore a$ の値に関係なく通る点、は $(0, 0)$ と $\underline{(4, 32)}$

$$(3) \text{線分 } OA: y = 8x \quad (0 \leq x \leq 4)$$

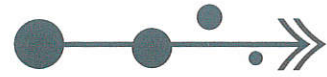
$$\therefore 2x^3 - 3(a+2)x^2 + 12ax - 8x = 0 \quad \text{を解くと。}$$

$$x\{2x^2 - 3(a+2)x + 12a - 8\} = 0$$

$$x(x-4)\{2x - (3a-2)\} = 0 \quad \therefore x = 0, 4, \frac{3a-2}{2}$$

$$\therefore 0 < \frac{3a-2}{2} < 4 \quad \Leftrightarrow \underline{\frac{2}{3} < a < \frac{10}{3}}$$

2枚目へつづく



2014年薬学部第5問

2枚目 / 2枚

数理
石井K5 a を実数とし、関数 $f(x)$ を $f(x) = 2x^3 - 3(a+2)x^2 + 12ax$ で定める。

- (1) $f(x)$ が極値をもつとき、その値は である。
- (2) $y = f(x)$ のグラフが a の値に関係なく通る点で、原点 O でないものを A とする。点 A の座標は である。
- (3) 点 A を (2) で定めた点とする。線分 OA と $y = f(x)$ のグラフが 2 点 O, A 以外に共有点をもつ a の値の範囲は $< a <$ である。
- (4) $x \geq 0$ を満たすすべての実数 x について、不等式 $f(x) \geq 0$ が成り立つ a の値の範囲は $\leq a \leq$ である。
- (5) $a \geq 3.5$ を満たすすべての実数 a について、方程式 $f(x) = k$ が 3 つの異なる実数解をもつ実数 k の値の範囲は $< k <$ である。

(4)

(i) $a > 2$ のとき右の増減表より、 $f(a) \geq 0$ であればよい

$$\therefore -a^3 + 6a^2 \geq 0 \Leftrightarrow a^2(a-6) \leq 0$$

$$\therefore 2 < a \leq 6$$

x	0	...	2	...	a	...	
$f'(x)$			+	0	-	0	+
$f(x)$	0		\uparrow		\downarrow		\uparrow

(ii) $0 < a < 2$ のとき右の増減表より、 $f(2) \geq 0$ であればよい

$$\therefore 12a - 8 \geq 0 \quad \therefore \frac{2}{3} \leq a < 2$$

x	0	...	a	...	2	...	
$f'(x)$			+	0	-	0	+
$f(x)$	0		\uparrow		\downarrow		\uparrow

(iii) $a = 2$ のとき、 $f'(x) \geq 0$ より、 $f(x)$ は単調増加

$$\therefore f(x) \geq f(0) = 0 \text{ となり条件をみたす。}$$

(iv) $a \leq 0$ のとき $f(2) = 12a - 8 < 0$ より不適。

$$(i) \sim (iv) \text{ より、} \underline{\underline{\frac{2}{3} \leq a \leq 6}}$$

(5) (4) の (i) より、3 つの異なる実数解をもつとき、 $a \geq 3.5$ をみたすすべての実数 a に対し、

$$f(a) < k < f(2) \Leftrightarrow -a^3 + 6a^2 < k < 12a - 8$$

$$g(a) = -a^3 + 6a^2 \text{ とおくと } g'(a) = -3a(a-4)$$

$$\text{右の増減表より、} 12a - 8 \geq 34 \text{ より } \underline{\underline{32 < k < 34}}$$

a	3.5	...	4	...	
$g'(a)$			+	0	-
$g(a)$			\uparrow	32	\downarrow